

第5回アフリカ開発会議(TICAD V)の公式サイドイベント (於:パシフィコ横浜展示ホール アネックスホール)

平成25年5月23日

日付	時間	主催団体	共催団体	講演のタイトル	イベント概要	リンクURL
2013/5/31	10:00~11:30	総合地球環境学研究所(於:大会場)		アフリカの将来を語り合うフィールドワーカーが見た等身大の日常から	このシンポジウムでは、長年アフリカでフィールドワークをしてきた研究者の日常的な経験をもとに、フロアの参加者とともにアフリカの将来やアフリカの人々と私たちの関わりについて草の根レベルで語り合います。	http://www.chikyu.ac.jp/index.html
2013/5/31	10:00~12:30	国際開発機構(FASID)(於:小会場)		インパクト・インベストメントのアフリカ開発における可能性	日本におけるインパクト・インベストメントのフロントランナーである、ARUN(アルン)合同会社、大和証券、国際協力機構(JICA)から登壇者をお呼びし、インパクト・インベストメントのアフリカ開発における可能性や課題を議論します。	http://www.fasid.or.jp/home/
2013/5/31	10:00~11:30	国際連合大学(UNIV)グローバルヘルス国際研究所(於:小会場)		アフリカにおける保健システムリフォームと精神保健	アフリカにおける保健システムのリフォームと精神保健に関して発表します。国連大学のスタッフによる発表や質疑応答も行います。	
2013/5/31	12:30~14:00	公益社団法人 青年海外協力協会(JOICA)(於:小会場)	アフリカ連合委員会(AUC)	「アフリカからボランティアがやってきた!」~JOICA-アフリカ連合委員会(AUC)ボランティア連携事業~	アフリカ連合青年ボランティア計画(AU-YVC)でのボランティア活動を経験したアフリカ人ボランティアと青年海外協力隊経験者が2か月間岩手県でともに復興支援・地域活性化に携わりました。双方向の人材育成・地域活性化への活動を通じて感じたことを報告します。	http://www.joca.or.jp/
2013/5/31	13:00~14:30	「動く→動かす」、特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター(JANIC)、特定非営利活動法人 オックスファム・ジャパン、公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(於:小会場)		包摂的成長と不平等の克服:ポスト2015年開発枠組みへのTICAD Vの貢献	アフリカの経済成長に注目が置かれる中、経済発展の利益が最も脆弱で貧しい人々に還元される「包摂的成長」を実現するために望ましい政策と、TICAD Vのポスト2015年開発枠組みへの貢献について、登壇者からのコメントを得ながら具体策の提起を行います。	http://www.ugoku.ugokasu.jp/index2.html
2013/5/31	13:30~16:30	横浜市(於:大会場)	外務省(申請予定)、JICA(独立行政法人 国際協力機構)	第5回アフリカ開発会議 公式サイドイベント シンポジウム「女性の活躍と経済成長」	女性と経済をテーマとしたシンポジウムです。記念講演では、マラウイ共和国のジョイス・バンダ大統領にご登壇いただきます。アフリカの女性起業家や支援組織の方々によるパネルディスカッションを開催します。	http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/danjo/ticad5josei/
2013/5/31	15:00~16:30	公益財団法人結核予防会・認定NPO法人ストップ結核パートナーシップ日本(於:小会場)		<シンポジウム>アフリカの結核をゼロに!	アフリカの経済開発と社会の安定を脅かす大きな健康問題「結核」。ポストミレニアム開発目標を展望し、アフリカのユニバーサル・ヘルズ・カバレッジ実現に結核への取り組みはどのように役立つのか?日本の貢献について議論します。	http://www.stoptb.jp/ http://www.jatahq.org/
2013/5/31	15:00~16:30	国連環境計画(UNEP)(於:小会場)		国連環境計画サイドイベント「アフリカにおける低炭素とグリーンエコノミー実現への鍵となる重要事項」	アフリカの人口は2050年までに世界の人口の約23%を占めると予想されます。これは、雇用、所得、インフラ、投資、食糧、水、エネルギー、衛生といった生きるために欠かせない要素や成長の関する政府・国への要求が高まっていくことを意味しています。雇用・投資・水・エネルギー・食糧を結び概念は経済成長と開発を統合して形成され、包摂的なグリーンエコノミーと低炭素社会の創造を目指します。本サイドイベントではアフリカの成長と開発を促進するための選択肢と機会につき、アフリカの自然と人的資本や、資源の保護と増大をはかるための3Rアプローチ(削減、再利用、リサイクル)をベースに、廃棄物管理を含む生態系機能を考慮にいれて検討します。	http://www.unep.org
2013/5/31	17:30~19:00	GAVIアライアンス(於:小会場)	日本リザルツ、UNICEF東京事務所	アフリカにおける予防接種:成果と将来の可能性	セス・パークレー-GAVIアライアンス事務局長、南アの歌手、イヴォンヌ・チャカチャカ氏(MDGs Envoy for Africa, UNICEF Goodwill Ambassador, President of the Princess of Africa Foundation)による基調講演。予防接種の持つ社会的・経済的効果と可能性についてのパネルディスカッション。	http://www.gavialliance.org
2013/5/31	17:30~19:00	特定非営利活動法人 ミレニアム・プロミス・ジャパン(大会場)	朝日新聞社	アフリカの平和と発展、そして未来へ~日本とアフリカをつなぐパートナーシップ~	TICADの主要テーマであるアフリカの平和と発展に関するシンポジウムです。コロンビア大学 ジェフリー・サックス教授による講演や、北岡伸一・国際大学学長、飯島彰己・三井物産社長によるパネルディスカッションを予定しております。	http://millenniumpromise.jp
2013/6/1	10:00~11:30	認定NPO法人ACE(エース)(於:中会場)	特定非営利活動法人横浜NGO連絡会	映画『バレンタイン〜控〜』上映会&トーク	チョコレートの原料、カカオ豆を誰がつくっているのか、あなたは知っていますか?ガーナで児童労働の問題と出会い、悩み、闘った、日本の女の子たちの物語です。	http://acejapan.org/
2013/6/1	10:00~11:30	認定NPO法人/国際NGO ロシナンテス(於:小会場)		ひとりではみんなの為に、みんなはひとりの為に~自分たちの手でスーダンに病院を作るぞ!~	認定NPO法人ロシナンテス理事長・川原尚行(医師)が講演をします。外務省を辞職し、目の前の困っている人を助けるために、団体を設立。スーダンでの8年間の活動とこれからの展望についてお伝えします。	http://www.rocinantes.org/
2013/6/1	10:00~11:30	TICAD V NGOコンタクト・グループ(於:小会場)	(特活)アフリカ日本協議会	TICADは日本・アフリカ市民交流の「架け橋」となるのか? =開発援助・知的対話・文化交流の実践から市民参加型のTICADについて考える=	真の「市民参加型」のTICADとは何か?日本アフリカ市民社会の連携はいつまで可能か?TICADを通して日本・アフリカ市民連携の可能性について、開発援助、知的対話、文化交流の観点からゲストが提起し、市民の皆さんと共に議論します。	http://ticad-v-cs.jmdo.com/
2013/6/1	12:30~14:00	国連人口基金(UNFPA)、外務省、AUC(アフリカ連合委員会)、APDA(アジア人口・開発協会)、IPPF(国際家族計画連盟)、JOICFP(ジョイセフ)(於:中会場)		家族計画2020およびアフリカの妊産婦死亡削減加速化キャンペーン(CARMMA):家族計画を含む妊産婦の健康に対する投資の経済的および財務的な効果の提示と事例紹介(仮名)	アフリカの女性指導者や日本側関係者、国際家族計画連盟の事務局長、他アジア人口・開発協会、ジョイセフおよび国連人口基金の事務局長が2011年7月のロンドン家族計画サミットにおけるコミットメントに関連し、地域社会の活気を形成するための家族計画と性と生殖に関する健康の役割について講演およびパネルディスカッションを行います。	http://unfpa.or.jp/
2013/6/1	12:00~13:30	国際貿易センター(ITC)(於:中会場)		アフリカのための責任あるファッション	アフリカに対してどのように責任を持ったファッションを展開することが可能か?アフリカの生産者と国際的価値を統合させるユニークで持続可能なビジネスモデルを紹介します。国際貿易センターの幹部と多様なバックグラウンドを持つパネリスト5人が登場し	
2013/6/1	12:30~14:00	一般社団法人 グローバルヘルス技術振興基金(於:小会場)	外務省(申請予定)、厚生労働省、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、塩野義製薬株式会社、第一三共株式会社、武田薬品工業株式会社	一般社団法人 グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund) 共同設立記者発表会 「官民連携による、グローバルヘルスへの日本の貢献」	日本初の官民パートナーシップ、グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)の設立趣旨ならびに概要の紹介。GHIT Fundが取り組む事業とグローバルヘルス分野において果たす役割について扱います。	http://www.ghitfund.org
2013/6/1	12:30~14:00	国際移住機関(IOM)(於:小会場)		シンポジウム「アフリカの角ー機会と挑戦」	「アフリカの角」、特にソマリアにおける課題や今後の展望について議論する。国際移住機関(IOM)が日本政府や日本企業などと協力で行う国内避難民に対する水衛生支援などの活動を紹介いたします。	http://www.iomjapan.org/
2013/6/1	14:30~16:00	外務省(於:中会場)	(協力団体)日本国際交流センター(JCIE)、TICADV学生プロジェクト	第5回アフリカ開発会議 国際シンポジウム エイズを考える:アフリカと日本の共通課題 (仮称)	エイズに関する日・アフリカの現状と課題について、安倍昭恵内閣総理大臣夫人及び林文子横浜市長出席の下、アフリカ国首脳配偶者、UNAIDS及び世界基金代表、有識者、NGO/NPO、学生、市民が対話を行うシンポジウムです。	
2013/6/1	15:00~16:30	国連開発計画(UNDP)(於:中会場)	外務省(申請予定)	躍動するアフリカ:気候変動に強い開発の事例 日本政府支援による「アフリカ気候変動適応支援プログラム」より	このシンポジウムは、「アフリカ気候変動適応支援プログラム」の成果と経験を発表し、アフリカ諸国で気候変動に強い開発のためにどのように変革をもたらしたのかを紹介いたします。	http://www.undp.or.jp
2013/6/1	15:00~16:30	国連工業開発機関(UNIDO)(於:小会場)	アフリカ連合	アフリカの持続的可能な開発とクリーンテクノロジー	経済的、社会的、環境的に持続可能な工業開発及び、開発機会のための政策対話や活動を促進するためのシンポジウムです。主な議題は低炭素で資源効率が高く、クリーンな工業生産技術への投資です。	http://www.unido.or.jp/news.html
2013/6/1	15:00~16:30	公益財団法人プラン・ジャパン 教育協力NGOネットワーク(JNNE)(於:小会場)		アフリカの子供教育と教育協力における日本の役割	アフリカにおける女子教育とその現状、ミレニアム開発目標(MDGs)/大人のための教育(EFA)、ポストMDGs/EFAにおける国際教育開発の課題、教育協力における日本の役割に関するシンポジウムを実施する。また、「世界一大きな授業」に参加した子どもたちから日本政府に対し、教育分野における政府開発援助(ODA)への提言を行います。	http://inne.org/

2013/6/1	17:30-19:00	afriajapan-africasia international(於:中会場)		最新作品のご紹介「TICAD,日本がアフリカの発展を求めるとき」	今回の会見は、本の中に込められた様々なメッセージについてゲストとの話し合いを提供し、今後私達が直面することになる機会や挑戦を再確認させ、開発に関する経験を地方レベルで交換し、そしてTICADVの一貫でいかにこれらを改善できるのかについて考えるためのきっかけになるでしょう。同時にTICADVの共催者と現地にいる開発の当事者との間にある現在の計画案をより明確化することにも繋がります。また、さらに真実に近づくためにも、魅力のある部分に考えを求め、今後とる手段について討議するために今回の会見は大事な場となります。これは開発の協力について、既に身を持って学んだこと、実用的な戦略について非常に興味深い対話を始める機会になるでしょう。	www.afriajapan.org
2013/6/1	17:30~20:00	国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)(於:中会場)	日本ユネスコ国内委員会, 国際連合大学高等研究所(UNU-IAS)	第一部:持続可能な開発のための教育(ESD):アフリカ開発促進への投資	パネル・ディスカッション「持続可能な開発のための教育(ESD)」日本ユネスコ国内委員会による開会挨拶、ユネスコ持続可能な開発のための気候変動教育プログラムの実施国であるモーリシャスおよび南アフリカの代表者によるプロジェクト成果発表、ESDを推進する開発援助機関を交えたパネル・ディスカッションを予定しています。	
		国際連合大学高等研究所(UNU-IAS)(於:中会場)	共催:国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)、国際連合児童基金(ユニセフ)、ESDに関する地域の拠点(RCEs) 後援:環境省	第二部:持続可能な開発のための教育(ESD)を通じたアフリカにおける包摂的で強靱な社会の構築	アフリカにおいて包摂的で強靱な社会を構築する上で、持続可能な開発のための教育(ESD)が果たす役割を議論します。ESDを推進する国連機関(ユネスコ、ユニセフ)、国連大学が認定するESD地域拠点(RCE)によるパネル・ディスカッションを行います。	https://www.ias.unu.edu/sub_page.aspx?catID=8&dID=2591
2013/6/1	17:30~19:00	国際熱帯木材機関(ITTO) 国際協力機構(JICA)(於:小会場)		アフリカの森林の持続可能な経営の推進に向けた取組	アフリカの森林の持続可能な経営の推進に向けた取組や課題、可能性について検討を行うシンポジウムです。アフリカで協力活動に従事している専門家の発表やカメルーン出身のエマヌエル・ゼ・メカ(国際熱帯木材機関(ITTO)事務局長の基調講演があります。発表に引き続き、発表者やそれ以外の専門家が、アフリカの森林の持続可能な経営に向けて国際熱帯木材機関(ITTO)と国際協力機構(JICA)が共同で提案する「TREESイニシアチブ」について、パネルディスカッションを行います。	http://itto.int/
2013/6/1	17:30~19:00	公益社団法人日本WHO(世界保健機構)協会(於:小会場)		「アフリカの健康、水、いのち」	民間企業、市民団体、学術界などとともに世界の健康問題に取り組んできた日本WHO協会の経験と活動を活かし、「アフリカの健康、水、いのち」を市民とともに考えていきたい。	http://www.japan-who.or.jp/
2013/6/2	10:00~11:30	特定非営利法人日本リザルツ(於:中会場)	ソマリア連邦共和国	国際社会はソマリアの紛争、海賊問題にどのように対処すべきか。またその問題をソマリア国が解決するために何を支援するのか	ソマリアの紛争、海賊問題、更に貧困対策、保健政策等話し合うシンポジウムです。ソマリア関係者によるスピーチやディスカッションを予定しております。	http://www.result.jp.org/main.html
2013/6/2	10:00~11:30	(特活)ジャパン・プラットフォーム(於:小会場)		アフリカでの人道支援ってどうやっているの? ~NGOによるアフリカでの苦闘・驚き・感動の奮闘記~	アフリカで人道支援に携わる、日本でも第一線のNGO関係者の体験談を分かりやすくお話しします。ジャパン・プラットフォーム加盟団体と学識者とのトークセッションを予定しております。	http://www.japanplatform.org/info/2013/04/301651.html
2013/6/2	10:00~11:30	栄養改善の世界同盟 Global Alliance for Improved Nutrition(於:小会場)	南タンザニア農業開発回廊(SAGCOT)事務局	経済成長と健康を促す農業改革	グローバルな農業投資のプラットフォームは、アフリカの人々に届ける食糧の「量」だけでなく、「質」の改善も促すべきである。食糧安全保障と栄養を一体として捉えた成功例にはどういったものがあるのか。また、アフリカ諸国の政府、日本その他の開発パートナー、民間企業は、食糧安全保障と栄養の改善を促進するために何が出来るのか。アフリカ、日本、そしてヨーロッパの官民を代表する指導者たちと議論します。	http://www.gainhealth.org/events/agricultural-transformation-for-growth-and-better-health
2013/6/2	10:00~11:30	OECD開発センター(於:中会場)	アフリカ開発銀行、国連開発計画	アフリカのためのパートナーシップ:アフリカの経済見通し2013	新アフリカ経済見通し(AEO)は、ノウハウやいくつかの組織のネットワークを組み合わせたアフリカのナレッジツールの例として講演を予定しております。OECD事務次長の玉木林太郎さんをはじめ、アフリカ開発銀行とOECD開発センターのプレゼンを予定しております。続いて、ヨーロッパとアフリカ諸国の発表者と代表者による、続いてパネルディスカッションを予定しております。	
2013/6/2	12:30~14:00	東京大学(大学院新領域創成科学研究科)サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム(於:中会場)	国連大学サステナビリティと平和研究所 アフリカ開発銀行 文部科学省	アフリカ開発会議高等教育セミナー アフリカの持続可能な開発における大学の役割	アフリカ開発銀行、東京大学からの専門家やザンビア大学、クワメンクマ科学技術大学の学長が、アフリカの持続可能な開発のための大学の役割や、高等教育を通じてアフリカの持続可能な開発を達成するための革新的な方法について講演、議論します。	http://isp.unu.edu/
2013/6/2	12:30~14:00	世界エイズ・結核・マラリア対策基金 国際エイズワクチン推進構想(IAVI) 公益財団法人日本国際交流センター(JCIE) 世界基金支援日本委員会(FGFJ)、ロールバック・マラリア・パートナーシップ(RBM) 国連合同エイズ計画(UNAIDS)(於:中会場)		ハイレベル・パネル 岐路に立つ世界の感染症対策-九州沖縄サミットからの前進を明日へつなぐ-	エイズ、結核、マラリアの三大感染症対策の最前線で活躍するアフリカと世界のリーダーが一堂に会し、G8沖縄サミットから今日までの感染症対策の成果と、今なぜ対策の継続が必要か、厳しい財政状況の中で投資の効果をどう高めていくべきかを議論します。	http://www.icie.or.jp/ticad5-0602sideevent/#j
2013/6/2	12:30~14:00	特定非営利活動法人アフリカ日本協議会(於:小会場)	(特活)ハンガー・フリー・ワールド(HFW) (特活)日本国際ボランティアセンター(JVC) (特活)オックスファム・ジャパン(OJ)	世界の動きとアフリカの食料安全保障	世界の食料・エネルギー問題とアフリカとの関係について講演を受けます。TICAD VIに参加するアフリカのNGO・農民間体から報告を受けます。質疑・意見交換を行います。	http://www.aif.or.jp/lang_ja/
2013/6/2	12:30~14:00	国際連合地域開発センター(UNCRD)(於:小会場)		パネル討論:アフリカの持続可能な地域開発:挑戦と機会	アフリカにおける持続可能な地域開発政策についてのパネル討論です。エチオピア、ガーナ、ケニアの行政官がパネリストを務める予定です。エチオピア、ガーナ、ケニアの経験やケーススタディを基に、アフリカにおける持続可能な地域開発の挑戦や機会を国連食糧農業機関(FAO)/国際農業開発基金(IFAD)幹部による開会挨拶が行われるとともに、農業投資はアフリカ小規模農家を如何に支援出来るかについて議論し、アフリカ諸国コミュニティや企業における責任ある農業投資(PRAI)の実施調査、アフリカ農業における海外直接投資の傾向と影響並びに代替ビジネスモデル、アグリビジネス投資の史的考察	http://www.uncrd.or.jp/
2013/6/2	15:00~16:30	Inter-Agency Working Group (FAO, IFAD, UNCTAD, WB)(於:中会場)		FAO/IFADトップによる開会挨拶、農業投資はアフリカ小規模農家を如何に支援出来るか、アフリカ諸国コミュニティや企業におけるPRAIの実施調査、アフリカ農業における海外直接投資の傾向と影響並びに代替ビジネスモデル、アグリビジネス投資の史的考察	世界でも最も貧しい国がある西アフリカでは砂漠化が進行し、人々の生活が危機にさらされています。このサイドイベントでは西アフリカの在来技術を活用し、砂漠化を緩和するとともに生計を向上させる取組を発表します。そして、今後の西アフリカにおける砂漠化対策に向けた日本とアフリカの協力のあり方を話し合	http://www.fao.org/
2013/6/2	15:00~16:30	(一財)地球・人間環境フォーラム(於:小会場)	砂漠化対処条約事務局、国連大学、環境省、国際協力機構、総合地球環境学研究所	西アフリカにおける在来技術を活用した砂漠化・土地劣化への取組~土地劣化ゼロの世界の実現に向けて~	現在アフリカが直面している人道危機について、焦点を当てて一方、「平和と安定」に成功した事例を取り上げ、アフリカにおける平和の定着が持続可能な開発に付与すること、また、ICRCがアフリカ地域で行っている主要な活動、及びこれまでの経験を交えて話	http://www.gef.or.jp/
2013/6/2	15:00~16:30	赤十字国際委員会(ICRC)(於:小会場)		人道危機への挑戦~紛争と災害に翻弄されるアフリカの取り組みを助ける~		http://www.icrc.org/ja/
2013/6/2	17:30~19:00	国連大学サステナビリティと平和研究所(於:中会場)	国連食糧農業機関(FAO)、イタリア大使館、農林水産省(申請予定)	伝統的農業システムとフード・セキュリティ	伝統的農業システムがアフリカ開発の重要な課題であるフード・セキュリティに果たす役割について、武内国連大学上級副学長、バルヴィス世界農業遺産事務局長、ボズリオ駐日イタリア大使館公使参事官、ラガット・ケニア世界農業遺産(GIAHS)ナショナル・コーディネーターの講演を予定しています。	http://isp.unu.edu/jp/

2013/6/2	17:30~19:00	国連ボランティア計画 (UNV) (於: 中会場)		アフリカの若者による、若者のためのボランティア活動の推進にむけて	アフリカの若者の育成に寄与するボランティア活動の重要性について議論する。 特にアフリカ連合 (AU) ユース・ボランティア・プログラムを中心にAU代表者、AUボランティア等の登壇を予定。さらにボランティア活動を経験した若者の意見を基にしてパネルディスカッションを予定しています。	http://www.unv.or.jp/
2013/6/2	17:30~19:00	児童労働ネットワーク (於: 小会場)	国際労働機関 (ILO) 駐日事務所	児童労働撤廃、大人のための教育 (EFA) の実現と若者の雇用創出～ダイナミックなアフリカのための質の高い成長に向けて～	日本のNGOによるアフリカの子ども兵士のリハビリテーション、カカオ産業の児童労働撤廃、日本企業とNGOの連携事例、ILOのプロジェクト紹介と、今後の開発目標策定に関する議論を行います。	www.cl-net.org
2013/6/2	17:30~19:00	特定非営利活動法人 難民を助ける会 (AAR Japan) (於: 小会場)		地雷被害者・元少年兵が作るアフリカの未来 ～私たち市民はなにができるか～	市民レベルで活動するアフリカの人々の声から学ぶシンポジウムです。 ウガンダ地雷被害者団体代表であり地雷禁止国際キャンペーン (IGBL) 大使であるM. オレク女史による基調講演や学識者・メディア・政府関係者によるパネルディスカッションも予定しています。	http://www.aarian.jp/
2013/6/3	10:00~11:30	アフリカ学生チューデント (於: 中会場)		学生を団結し、日本とアフリカ両国の交流の架け橋になり、より一層相互理解を深める。	日本在住のアフリカ留学生ネットワーク代表による歓迎のことば。本シンポジウムをテーマにパネルディスカッションを行います。	
2013/6/3	10:00~11:30	北海道大学 (於: 小会場)		農業・食料生産のための水資源の統合的管理	食料生産のために総合的な水管理 (地下水+雨水+排水) を議論します。世界の排水再利用、日本の地下ダム、ブルキナファソの農村モデルが提示されます。ブルキナファソ政府要人と琉球大学、愛媛大学、北海道大学の教授が講演します。	http://www.eng.hokudai.ac.jp/la-bo/UBNWTRSE/project/jst-jica/burkina-faso/index.htm
2013/6/3	10:00~11:30	CONGO JUSTICE JAPAN (於: 小会場)		アフリカを見つめ、日本を見つめる	急激な成長を続けるアフリカに対し、日本はどのような役割が求められているのだろうか。 お互いの共栄を考えることは、発展的な未来を考えることに繋がる。アフリカと日本が持つ力を、どう活かすことができるのか。ジャーナリスト大津史郎氏と共に考える。	http://congojustice.jimdo.com/
2013/6/3	12:30~14:00	神戸情報大学院大学 (於: 中会場)	国際協力機構 (JICA) (申請中)、日本貿易振興機構 (JETRO) (申請中)	ルワンダと日本との間で起こっている情報通信技術 (ICT) によるイノベーション	「アフリカの奇跡」と呼ばれ、情報通信技術 (ICT) によるイノベーションを目指すルワンダと日本との間で深まりつつある産学連携・民間連携の取組事例を両国の当事者から紹介し、今後の将来性と可能性についてパネルディスカッションします。	http://ict4d.kic.ac.jp/
2013/6/3	12:30~14:00	ピース・コープス・ナイジェリア (於: 小会場)		アフリカの若者へのエンパワーメントは平和と発展を持続させる方法である。	アフリカの若者と平和教育についてのシンポジウムです。 講演: アフリカ開発対し、若年国家司令官の役割 アフリカの若者エンパワーメントと政治の開発に関するグループディスカッション	http://www.peacecorpsnigeria.org
2013/6/3	12:30~14:00	特定非営利活動法人ウォーターエイドインジャパン (於: 中会場)		Hand-in-hand for Water and Sanitation ～すべての人の水と衛生へのアクセスを実現するために～	最貧困層を対象とした水衛生事業に専門的に取り組むNGO、ウォーターエイドのアフリカ事業部長などが登壇し、すべての人の水と衛生へのアクセスを実現するために取り組むべきことについて議論します。水衛生分野への投資が、教育、保健などの人間開発分野に与えるインパクトについて、東南アジアの事例をもとに検証し、水衛生の重要性を再確認します。	http://www.waterraid.org/where-we-work/page/japan-japanese
2013/6/3	12:30~14:00	ザンビア共和国カウドラキャンブ＝農協連合 (於: 小会場)	南農業マーケティング研究所	協同組合精神と小型土壌分析器による環境保全型農業でトウモロコシの9t/haどりへ～中規模農民による小規模農民支援と「結び」～	ザンビア共和国のカウドラ農協連合では、中規模農民が小規模農民を技術指導、資材調達、販売、マイクロクレジット等で支援するとともに、日本から技術導入された環境保全型農業と小型土壌分析器によりコミュニティ全体の生産性を上げており、こうした取組	http://www.marketing.ac

*内容については、各主催団体にお問い合わせください。

